

いっしょに読もう！新聞コンクール



校内に新聞記事を掲示する国語系の生徒
＝小浜二中

小浜二中が優秀学校賞

家族や友達と新聞を読ん
で感想や意見を書く「第11
回いっしょに読もう！新聞
コンクール」(日本新聞協会
主催)の審査結果が14日発表
され、団体最高賞の優秀学

校賞に県内からNIE(教育に新聞を)実践指定校の小浜二中が輝いた。探究学習に新聞を取り入れコンクールの題材としたほか、通常の授業、系の活動などでも新聞を活用。学校を挙げた多彩なNIE活動が評価された。【28面に関連記事】

国内外の小中高校から5万7977点、県内の28校から過去2番目に多い2438点の応募があった。団体応募の全国432校の中から、小浜二中をはじめ小中高15校が優秀学校賞に選ばれた。個人では奨励賞に県内から3点選ばれた。

同校は総合の時間で「命」「まちづくり」「地域、キャリア」など学年ごとの探究に新聞を取り入れ、コンクールのテーマとした。「まちづくり」では小浜市の課題に触れた記事を読んで現状に理解を深め、活性化策を考える授業に生かしている。

また全教科にわたった新聞活用や、朝学習でのコラム視写など日常的にNIEに取り組んでいる。新型コロナウイルス拡大中の一斉休校時は、医療従事者らの記事を読んだ生徒が感謝のメッセージを贈る活動につながった。

(大西崇弘)

